昭和58年度(第7回)

借款手続セミナー実施要領

昭和58年10月

国際協力事業団研 修 事 業 部



研
JR
83-11

目 次

1.	コース名等	1
2.	コースの目的・背景	1
3.	到 達 目 標	1
4.	研修項目・研修方法	1
5.	研修員参加資格要件	2
6.	研修実施体制及び運営	3
7.	研 修 施 設	3
8.	研修教材・資機材	3
9.	研修付帯プログラム	3
1 0.	研修の評価	4
表I	研修関係機関及び関係者リスト	5
表』	研修日程	6
表』	I 研修員リスト	7
表 N	/ 国別研修員参加実績表	8

JIE LIBRARY



1010225597

1. コース名等

イ. 和 文 名:借款手続セミナー

口. 英文名: Loan Procedures Seminar

小、研修期間:10月13日~11月6日

二. 定 員:15名

2. コースの目的・背景

海外経済協力基金(以下「基金」という。)が実施する円借款の量的拡大、援助対象国の増大、事業実施機関の多様化等及び円借款に係る諸手続の整備に伴い、基金手続を円借款受入政府等に周知せしめる必要性が痛感されるに到った。こうして、昭和52年度に開始された本借款手続セミナーは、円借款に係る手続の習得を目的として以後毎年開催され、これまでの参加研修生は37ヵ国、81名に及び、円借案件の円滑な進渉及び効果の発揮に多大の貢献をしてきた。

3. 到達目標

プロジェクト・サイクル等基金の借款手続に関する充分な理解。

4. 研修項目·研修方法

- イ. 日本の文化、制度等(Tokyo International Center における研修)
- ロ. 円借款に係る手続等(基金職員による講義)
 - 日本の経済協力及び二国間援助

- o プロジェクト・サイクル
- o 審 査
- 。 交換公文(E/N)と借款契約(L/A)
- o 調達及びコンサルタント雇用手続
- o 支払及び返済手続
- 0 評 億
- へ、日本の技術協力と無償援助(国際協力事業団 ― 以下「事業団」という ― の職員による講義)
- ニ 日本のコンサルタントの機能と活動(ECFA 職員による講義)
- ホ 関西研修旅行(久保田鉄工,新日本製鉄,松下電器等見学)

5. 研修員参加資格要件

4. 応募条件

開発途上国政府またはそれに準ずる機関に於て、基金の借款業務を直接担当 している課長担当の者であり、かつ英語による読み書きの能力を充分に有する者。

ロ. 外務省が在外公館経由で相手国政府の申請を受けた後,基金,事業団及び外 務省の三者が協議して人選を行う。選考基準は,本年度割当国からの参加者で あること,上記礼の応募条件を満たす者であること,相手国からの強い要望の ある者であること等である。

ハ. 割 当 国

円借款供与の実績又は可能性をもつ開発途上国の中から,基金借款供与額, 案件数,事業実施機関数,相手国政府等の能力,案件の進捗状況,地理的配分, 過去の参加実績等を考慮して決定される。

本年度は、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、韓国、ビルマ、イエメン、トルコ、バングラデシュ、スリランカ、タンザニア、チュニジア、エジプト、ペルー、プラジル、ドミニカ、ガーナ(不参加)及びフィジー(不

参加)。

6. 研修実施体制及び運営

イ. コース運営の仕組み

基金総務部総務課が受入れ先事務局となり,事業団研修事業部研修第三課と 協議しつつ運営する。

- ロ. コースリーダー,研修監理員等の配置 事業団研修事業部研修第三課及び基金総務部総務課から担当者が配属される。
- ハ 直轄・委託方式の区分委託方式

7. 研修施設

Tokyo International Center 及び基金。宿泊施設はフェアモントホテル。

8. 研修教材, 資機材

テキストとして ** OECF Loans and Loan Procedures ** (基金作成)を使用する。

9. 研修付帯プログラム

本体研修開始前に、事業団及び基金による2時間程度のオリエンテーションを

行う。

10. 研修の評価

在外公館,事業団海外事務所及び基金海外駐在員事務所を通じて,フォローアップを行う。

表 】 研修関係機関及び関係者リスト

海外経済協力基金 総務部長藤田恒郎 久保田鉄工株式会社 海外協力部長 高田 恵 新日本製鉄株式会社 秘書部長 千速 晃 松下電器産業株式会社 渉外部長 山田皓一 海外コンサルティング企業協会 事務局長 山口 仁秋 .

		表 1 研修日	程	
月 日	時 間	行 事 · 講 義	参 加 者	場所
1 0月15日(土)	14:00~16:00	総務課事務局によるオリエンテーション	事務局, JICA(辻, 西尾)	(宿泊はフェアモント・ホテル)
17日(月)~19日(水)		JICA によるオリエンテーション		Tokyo International Center
19日(水)	18:30~20:00	総務部長主催歓迎レセプション	基 金:部長室・次長,関係課長,講師	麻布分室(別紙地図)
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		JICA:研修事業部第3課	
20日(木)	10:00~10:30	開講の辞(総務部長)		大会議室
	10:30~11:30	講 義 日本の経済協力,二国間援助	坂井参事, 鈴木調査役	<i>y</i>
	11:30~12:00	広報映画上映		#
	14:00~15:00	総裁表敬, 記念写真撮影		調印室
	15:00~17:30	講義 プロジェクト・サイクル、プロジェクト準備、申請からL/A	下村次長,長須課代	大会議室
2 1 日 (金)		JICAによる都内見学		
2 4 日 (月)	10:00~12:00	講 義 審査, E/NとL/A	成田課長,春田課代	第1会議室
	14:00~16:00	# 調達手続,コンサルタント雇用手続	(三橋課長), 橘田課代	<i>II</i>
	16:00~17:30	# 支払手続	佐中課長, 山課代	"
25日(火)	10:00~11:00	″ 支払手続,返済手続	11. 11	"
	11:00~12:00	" 評価	上林参事, 松屋課代	#
	14:00~17:30	講義に係る質疑応答	講師全員	大会議室
26日(水)	10:00~12:00	ECFAによる講義と質疑応答 — 日本のコンサルタントの機能と活動	田中事務局長代理	第1会議室
	14:30~17:30	JICAによる // 技術協力と贈与	研修第3課長/無價資金協力部業務課長	JICA 46F会議室
27日(木)	10:00~12:00	研修生からの報告(各人40分)タイ,マレーシア,インドネシア	司会 長須課代 業務 1 部 1,2 課	第1会議室
	14:00~18:00	リ インドネシア、フィリピン 2 名、韓国、ビルマ、イエメン	# 第1-2,3; 11-1,2	"
2 8日(金)	10:00~12:00	<i>n</i> トルコ, バングラデシュ, スリランカ	# 業Ⅱ — 2, 3	"
	14:00~18:00	// タンザニア、チュニジア、エジプト、ペルー、プラジル、ドミニカ	# 業田一1,2	#
30日(日)~11月2日(水)		地方研修旅行(詳細次葉)京都·奈良市内,久保田鉄工,新日鉄,松下電器見学	事務局, JICA	(宿泊は京都第2タワーホテル
4日(金)	10:00~12:00	個別協議	業務各課	
	14:00~16:00	研修生からのコメント	事業局, JICA	第1会議室
.*	16:30~17:00	JICA 主催閉講式	総務課長,事務局,JICA	<i>"</i>
	17;30~19:30	JICA主催歓送パーティ	基金:部長室・次長,課長,参事,講師	滯 党
			等, JICA: 研修事業部第3課, 経企庁:	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			経協 1, 2 課	

ĸ \simeq œ. 额 庠

					<u> </u>							
	30 。	in Rural Development, l	Principal Assistant Secretary (External Loans Management), M of Finance	Secretary to the Directorate of Road Construction, M of Public Works	Chief of Bilateral Sec., International Relations Div., Bureau of Planning, M of Public Works	Supervisor for Treasury Operations, Philippine National Oil Company	Supervising Economic Development Specialist, National Economic Development Authority	Deputy Director, Government Loan Management Div., Treasury Bureau, M of Finance	Assistant General Manager (Exchange Control), Myanma Foreign Trade Bank	Head, External National Debt Sec., Foreign Dep., Central Bank	Treasury Expert, M of Finance	
	和	35	4	46	39	25	31	32	51	E.	29	
•	女	₩ · ·	眠	眠	眠	¥	¥	既	眠	歐	眠	
; =	八八八八	Srisuphan	Peter Johnson	Soetomo Noeridin	Hendro Pradono	Monica B. Manalo	Ma. Teresa Laiz	Kyung Woo Nam	U Mya U	Kamal Yahia Ismail Al-Rabie	Ali Ümil Gonülal	
	育物		<i>y</i>	ア	:	וג ג		H	Þ	<i>y</i>	п	
	∦ ■ Ⅲ 全		7	* *	·	= +			ş	H	7	
Ħ	KA	**	P	7	-	N _		麒	ת	7		

	1	1				$\neg \neg$		
会 饕 泰 窓	Deputy Controller of Foreign Exchnage, Bangladesh Bank	Deputy Director of External Resources, M of Finance and Planning	Senior Finance Management Officer, M of Finance	Director of Bilateral Cooperation, M of Planning and Finance	Assistant to the Head of the Japanese Desk, M of Investment and International Cooperation	Economist, M of Economy, Finance and Commerce	Adviser, Secretariat of International Economic and Technical Cooperation, M of Planning	Assistant to the Technical Minister of the Presidency
年令	4	45	38	38	28	33	36	34
和	彫	*	留	既	殿	題	題	角
及	M. Ruhul Amin	C. Amerasekare	Angelo Jhoyelo Muneni	Abdelhamid Bouhaouala	Mohsen Mohamed Sadek	David Rolando Lescano Arredondo	Roberto De Mello Ramos	Anfbal Mateo López
4	y u	*	h	1	. 4		ź	R
"	75) IV	11	11	<i>y</i>	5	3	1]
圈	バンガラチ	κ E	<i>N</i>	4	н	٧.	11	1/2

表 N 国 別 研 修 員 参 加 実 績 表

	5 2	5 3	5 4	5 5	5 6	5 7	Δ = Δ
							合 計
アフガニスタン		1			1		1
アルジェリア		·	. 1		İ		1
バングラテシュ	1		1	1	1	٠.	4
ボリヴィア		1			1	ļ	2
プラジル					1		1
ピルマ	1 .	1		2		1	5
コロンピア				1			1
コートジボアール					1		1
エクアドル			2		ļ		2
エージプト		1		2			3
ホンデュラス						1	1
1 ンド			1	1		1	3
インドネシア	1	1	2	1	1	5	8
ジョルダン			1	1		ì	3
ケニア	1			1		1	3
大韓民国		1				1	2
リベリア				1			1
マダガスカル			1				1
マレイシア	1					1	2
メキシコ		·			ī	1	2
モロッコ						1	1
ネ パ ー ル				1		1	2
ナイジェリア					i		1
パキスタン		1				1	2
パプア・ニューギニア		:	1	1			2
パラクアイ			1				1
~ n	1]				1	2
フィリピン	Î		1	1	1		4
セ ネ ガ ル	•		1				ı
こ ボ	1		Î	j	1		3
X - X \	1			-		1	2
タンザニア	•	1			1		2
		1		1	2		4
	1	′		1			2
1	,	1	1	ı	1		3
į.			1		Î	1	1
ザンピア			'			1	1
ジンベブエ				<u> </u>		 	
計	1 0	9	1 5	1 8	1 3	16	8 1

